

# ひまが

2022.10  
HIMUKA

No. 86

私たちは仕事と人生の  
エキスパートです！



宮崎カーフェリー

肝付静彦さん



平原寛さん

森田良市さん



令和3年度～令和4年度 宮崎市シルバー人材センター安全標語最優秀作品  
小さな油断 小さな緩み 大きな事故の第一歩 東 修月(本部)

令和4年度

# 定時総会が開催されました

令和4年6月10日(金) 宮崎市民プラザ オルブライトホール



## 令和4年度 新役員



理事長

清 則幸

役職  
名前  
所属



副理事長

濱砂 満紘  
(佐土原)



理事

東 修月  
(本部)



理事

蛭原 三男  
(本部)



理事

古賀 則子  
(本部)



理事

坂下 千代子  
(本部)



理事

佐藤 佳代子  
(佐土原)

役職  
名前  
所属



理事

土持 厚子  
(本部)



理事

野邨 国夫  
(清武)



理事

日高 克義  
(高岡)



理事

藤久保 義人  
(本部)



理事

吉岡 敏治  
(田野)



理事

竹本 憲児  
(事務局長)

役職  
名前  
所属



理事

原田 六十志  
(宮崎市観光商工部長)



監事

阿萬 直純  
(本部)



監事

小川 稔  
(田野)





# 令和4～5年度 理事会専門委員会紹介

総務委員会		
委員長	濱砂 満紘	佐土原支部
副委員長	坂下千代子	本部
委員	東 修月	本部
委員	吉岡 敏治	田野支部
委員	日高 克義	高岡支部
委員	竹本 憲児	事務局長
課長	重永 博紀	事務局
副主幹	江崎 淳	事務局

広報委員会		
委員長	日高 克義	高岡支部
副委員長	蛭原 三男	本部
副委員長	土持 厚子	本部
委員	中川 雄一	本部
委員	長友 克輔	本部
委員	村田 勝	佐土原支部
委員	勝本 眞一	清武支部
委員	竹本 憲児	事務局長
主任	稲村 義人	事務局

地域対策及び事業拡大委員会		
委員長	野邨 国夫	清武支部
副委員長	古賀 則子	本部
副委員長	藤久保義人	本部
委員	興梠 邦洋	本部
委員	加藤 郁子	本部
委員	竹本 憲児	事務局長
主任	吉田 利恵	事務局

安全・適正就業委員会		
委員長	東 修月	本部
副委員長	吉岡 敏治	田野支部
委員	吉田 敏男	本部
委員	長友 益実	本部
委員	外山 隆士	本部
委員	沼口 孝一	佐土原支部
委員	坂本 勇夫	清武支部
委員	前畑 悟	高岡支部
課長	重永 博紀	事務局
局長	竹本 憲児	(適正委員会)

女性委員会		
委員長	坂下千代子	本部
副委員長	佐藤佳代子	佐土原支部
委員	大坪 幹子	本部
委員	上谷美津子	本部
委員	川野 なみ	本部
主事	堀 英理子	事務局



## 草刈・除草部会の報告

とくお  
部会長 横山 徳雄さん (75歳)

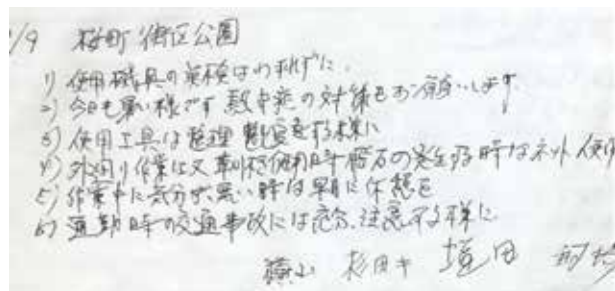


会員 218 名の草刈除草部会には、年間約 3,000 件の依頼が舞い込みます。私の場合、6 人でチームを作っています。1 回の作業時間は 4~5 時間です。夏場は冬場より 1 時間ほど早く作業に取りかかります。

たとえば公園の草刈りは年 3 回 (4・7・10 月) 行いますが、7 月は草の成長が早く大変です。4 月の時と比べると 3 倍の量になります。とくに雨の降った翌日は水分を含み、70ℓ 袋を抱えるには相当のエネルギーと粘りが必要です。

ただ作業が終わり、施設や地域の人が喜んでくれ、感謝の笑顔を見せてくれた時は、それまでの苦勞がいっぺんに吹き飛びます。私たちも嬉しいのですが、満足ばかりはしてられません。関心は再度の依頼が舞い込むかどうかです。再び依頼されることは、自分たちの作業の技量が認められたという確信に変わっていきます。

仕事上の実力をつけること、それが部会の目標そのものと言えますが、事故が起こったり自分の健康を損ねることがあっては何の意味もありません。そのため、作業の前には必ず朝礼を行い、仕事の内容 (たとえば先日の仕事とは似ているがここが違う。そのためには・・・の準備を怠りなく。使用工具の置き方など) や安全面について、お互いで確認するようにしています。とくに作業に慣れてきたときが危なく、甘さやスキを生じないように心がけています。



誠実できめ細かな作業ぶりがぐいぐいと伝わる横山さんのメモ

作業後はノートにその日の作業の始終の要点をメモします。皆のサインももらいます。こうすることで、その日良かった点や反省すべきことが浮かび上がってきます。私も自覚すべきことや安全面で気をつけたい点が見えてきます。代金をいただく以上、それに見合う、依頼主から信頼を得られる作業内容でなければならないと思います。

## 広報委員会の報告

広報委員長 日高 克義さん (76歳)



会報「ひむか」一鮮やかタッチで表紙が描かれ「私たちは仕事と人生のエキスパートです」これがスタートの題字で、各部会の会員さんたちの仕事ぶり、若々しい表情が感動と勇気を沸き立たせてくれます。この貴重な会報を製作しているのが広報委員会のメンバー8名の方々です。私も委員の1人としてお世話になっていますが、なにしろわからない事ばかりで今日まで経過してしまい皆様に本当に申し訳なく思っています。すべてのメンバーの方々の経歴が、素晴らしい人生を進んでこられた人達じゃないかと想像するとともに、私から見た感じはプロに近い仕事をされていらっしゃると思われま。情報時代、自分たちが率先して頑張る意気込みを皆さんにアピールしていけたらと思います。最終的には、関係者のニーズに応えるべき、好きになってもらう会報であってほしいと思います。広報活動は単なる情報発信ではなくコミュニケーションであり、読み手にとって興味がある話題を提供できるよう頑張っていきたいと考えています。

# 会員のつぶやき

日頃考えていること、人生訓、失敗談、便利な活用法など何でも自由に呟くページです。



## 久米田 祥一<sup>しょういち</sup> / 清武支部・管理部会

令和元年8月に会員登録させていただきました。

最初の仕事は、10月に宮崎商工会議所の通行量(人・自転車)の調査でした。

何か仕事は無いかと探していた折、令和2年2月に清武支部の長友支部長から「JR清武駅の仕事があります」と電話をいただきまして、3月から就業することになりました。

業務内容は切符・定期券の発売、改札、売上計上等です。

午前7時10分から8時30分の時間帯は通勤・通学の人が多く、改札口には長い列ができホームに行く階段・横断橋の上まで続きます。

改札口では、降りて来たお客様の切符回収、定期券の確認です。回収・確認の際には、「ありがとうございました」と一人ひとりに言っております。お客様からも「ありがとうございました」「おはようございます」とことばが返って来ることもあります。

帰る時には、待合室にいるお客様に「お疲れさまです」と言って帰ります。

これからも、一日でも長く「ありがとうございました」と言い続けられるようがんばっていきたいと思います。



## アルフレッド ケルトナー / 本部・屋外清掃部会

Alfred was born in Vienna, Austria where he received his education in music, English and classical Latin and Greek languages and history. At age 18 he decided to settle in Canada where continued his studies and obtained Bachelor, Master and Doctor degrees in psychology and physiology. Subsequently he secured teaching positions at universities in Canada, Australia and Hong Kong. He has published 32 scientific papers and presently is completing his third book. His hobbies involved mostly outdoor pursuits such as skiing and sailing. The exception was his training in and practice of Judo since age 17. He eventually won the all Canada Intramural Championship in 1966. In 1977 he began the construction of a ten meter ocean sailing yacht. Upon its completion he sailed it for four years among the Northwest Pacific Islands and in 1986 navigated it to Mexico and then across the Pacific to Hawaii, where it is now moored in Keehi Lagoon, Honolulu. Alfred met Takako in Papua New Guinea. She had graduated from Kunitachi University in Tokyo then taught piano at the Papua New Guinea National Institute. He held a senior lectureship at the university. Later in Hong Kong she continued her education in Piano Pedagogy and he assumed a chairmanship at the university. In 1997 they moved again to settle in her home town Miyazaki. Today, their daughter Lisa, age 21, studies voice and stage performance in Tokyo and son David, now 25, after studying cello, is a member of the stage repertory of Shiki Company. Alfred is often asked where in Japan he wants to live now and without hesitation he always answers: "Miyazaki". He feels it is beautiful, at the sea, with clement weather and the people there have always been kind and welcoming. Today, in his retirement, he enjoys the work outdoors in the attractive parks of the city. Alfred is 83.

私はオーストリア、ウィーンで生まれ、その後カナダに行き、宮崎に25年前から住んでいます。今までの仕事は心理学者としてカナダ、オーストラリア、香港等で心理学を教えています。その一方で、趣味のセーリングが高じて船を自分で10年かかって作り、セーリングを楽しんでいました。他の趣味は楽器のオーボエのリードを作ることと20歳の時からやっている柔道があります。しかし来年84歳になるので、家族から、もうそういう危ない趣味は辞めて！と言われセーリングは諦める事にしました。リード作りは安全なので今も家族の同意を得て作っていますが、やはり若い頃から身体を動かす事が大好きな性分なので、何かないか…とと思っていたところ妻の紹介でシルバーセンターを知りました。現在、生目台公園と市役所を担当させて頂いています。シルバーセンターの方々は皆優しく、思いやりがあり、私が日本語が喋れなくても出来る仕事を紹介して頂きました。この仕事を始めて、また若返った感じがしています。25年も宮崎に住んでいて友達が居なかったのですが、今回、仕事場でいろんな方から頑張っ！等のお声をかけて頂き、有難く思っています。シルバーセンターの様な制度は私の国には無いので、とても良い制度だと思います。生きがいも出来ずずっと元気で働きたいと思います。



このコーナーでは会員の皆様からのつぶやきを募集しています。応募先:本部事務局(担当:稲村)まで

# 働く現場訪問 PART17 宮崎カーフェリー

フェリー「たかちほ」は圧倒的な大きさでした。全長 194m、全幅 28m ですから、5 階建てのビルが海に浮かんでいるようなものです。今年 4 月に就航したばかりとはいえ、案内された船内はどこも清潔に磨き上げられていました。

森田良市さん(70 歳)は、260 床ほどの 2 等席(ドミトリーというそうです)のベッドメイクや浴室などの清掃を受け持たれています。ここへ派遣されて 6 年だそうで、さすがに手際よく作業を進めておられました。9 時半から 14 時まで、10 人ほどでチームを組んで仕事をしますが、気の合った仲間ばかりだし、冷暖房の効いた船内での仕事なので楽しく続けられている、と言われました。

それに対して、広い駐車場で乗船を待つトラックや自家用車を誘導するという仕事は、炎天下あり大雨の日ありで大変そうです。シルバーからは 2 人の方がこの担当をされていました。その 1 人平原寛さん(74 歳)は警察官 OB で、この仕事に就いて 9 年目になります。新人の訓練も任されている大ベテランですが、気がつかないうちに熱中症で倒れていたことがあるというほど、ここの熱さはこたえるそうです。



保冷トラックの電源を確認する



ドミトリーのベッドメイキング

もう 1 人は 3 年目の肝付静彦さん(81 歳)です。鹿児島出身で商社マンでしたが、宮崎の気候や人柄の良さに惚れ込み、この近くのマンションに移住して来られたとか。スタッフの中では最高齢ですが、まったくそれを感じさせない元気な方でした。

仕事は 16 時から 19 時半までで、乗船券のチェックをしたり、船内の担当者に保冷車の種類を伝えたりします。長距離トラックの運転手は、イメージと違って人懐っこい人が多いし、事務所の人たちも親切で優しいからとても働きやすいです、と二人は声を揃えて言っておられました。共通の趣味という海釣りにも、ここは最高の職場環境と言えそうです。

(中川、長友)



## 本部 土持 厚子さん(69)

50 代半ばを過ぎたころ、この後の人生で何がしたいか何ができるのか考え始めました。

それまで漠然とギターを弾いてみたいという思いは抱いていました。

そのころ宮崎市公民館講座で「クラシックギター教室」が開かれるのを目にして申し込みしました。

まったくの初心者でしたが、講座が始まると意外に年配の方も多く少し安心しました。

「ふるさと」の曲から講座は始まりました。

講座終了後、自主講座に入りました。公民館講座に引き続き、公益社団法人日本ギター連盟正会員有川祐三先生にご指導いただいております。

公民館まつりで演奏を披露するのを目標に 2 曲を約 1 年かけて練習します。現在 10 名の会員で「ギターアンサンブル赤江」という名称で月 4 回赤江公民館を拠点に練習しています。

3 パートに分かれての合奏でひとつの曲を数ヶ月から 1 年以上かけて仕上げていきます。練習を重ねて他のパートの音が聴こえ始め曲が完成していく過程は苦しくもあり、心がひとつになる至福の時でもあります。

今は新型コロナの影響で中断していますが、老人福祉施設や地域のサロンなどで演奏もさせてもらっています。「ふるさと」「荒城の月」を始め唱歌、歌謡曲など演奏し一緒に歌い楽しい時を過ごしています。

グループを引っ張ってくれるリーダーや、先輩たち、講師のご指導のもとこれからも楽しくギターを続けていきたいと思えます。



## なぜここに爆弾の雨が？戦災の碑(宮崎市佐土原町津倉地区)

その碑は、佐土原駅から西に3キロほどの津倉集落の公民館のそばに立っています。隣に続く集落は江原(えばる)です。北から迫る雑木林(丘陵)と南に広がる田んぼ、異なる緑の境に沿って約90世帯が生活を営み、ところどころ陽光を反射しているビニールハウスがみえます。

昭和20年4月18日朝10時、晴れた空の下に空襲警報が鳴り響きました。北から南下してきたB29戦略爆撃機9機は上空5,500mからその量10トン(9,000発)の爆弾・焼夷弾を降らせました(国立国会図書館蔵の米空軍書類)。爆撃機が去った後、ほぼ壊滅的となった2集落とその近辺あわせ、3歳から76歳の27名が即死ないし井戸端や運ばれた病院で絶命しました。

大都市や軍事施設そして中小都市が空襲に見舞われる中、のどかな農村になぜB29が飛来し、爆弾の雨を降らせたのか、今なおその答えは導き出されていません。沖縄上陸作戦を援護するため、当日の目標はニッタガハラ飛行場と資料には記されています。そのことから、気づかずに過ぎた北6kmほどの新田原基地をここと思い(ミストターゲット)、当時増えつつあったかぼちゃの温床(表面に油紙)を基地施設と勘違いしたのではとされています。



「戦災の碑」と津倉公民館



津倉集落から江原集落へ(写真右から左へ)

爆弾は南西に9キロ離れた柳瀬集落(大淀川と本庄川の合流点)にも落とされ2名の方が亡くなりました。戦争はいつの時代でも軍や軍事施設はもとより、無防備な人々や文化財に多大な被害をもたらします。この碑はそれに加え、人々の心理面に与えるダメージの大きさも伝えようとしています。

バス停 宮交バス西都線「黒田」下車、北へ10分。(村田)  
参考文献:「わが里に火の雨が降った日(津倉の空襲を語る会議)」  
「里も村も空襲された(三上謙一郎)」

との ところ

## 外所大地震と西教寺(宮崎市熊野)

外所大地震は、寛文2年(1662)9月19日に、推定でマグニチュード7.6、青島の北東の位置を震源として発生しました。

この地震で、外所集落が陥没し、246戸の民家、田畑8千5百石が水没し、溺死者15人を出しました(被害状況は諸説あり)。被害は県内一円に及び、飢肥城石垣(日南市)や縣(あがた)城石垣(延岡市)まで災害が広がりました。

水没した地域は、今の県総合運動公園・宮崎空港近辺まで広がり、液化現象と津波で、一夜で一帯は入り江になったようです。

その後、犠牲者の供養と災害を忘れないようにするため、50年ごとに、災害供養碑が建てられるようになり、現在は7基の供養碑が、島山集落の敷地に建っています。初期の供養碑は、お経の一文が刻まれています。300周年忌は、当時の有馬美利宮崎市長のメッセージが刻まれています。一番新しい供養碑は、木花振興会と西教寺で建立され、350周年忌の銘が刻まれています。

西教寺は、慶長元年(1596)に、戦没者慰霊のため飢肥藩が建立したお寺で、初代住職道源の孫の、和泉守2代國貞＝井上真改は、有名な刀匠として大阪を中心に活躍しました。今の住職は14代目になり、先代の住職とともに取材に応じていただき、400周年忌に向けて、自然災害の脅威と命の尊厳を意識し、防災意識の高揚に務める、との力強い言葉をいただきました。

宮崎交通バス811号線「宮崎大学・大学病院前行」木花バス停下車40m。(中川)



外所山西教寺本堂(浄土真宗本願寺派)



7基の供養碑が並ぶ



第5基 250回忌供養碑





互助会会長  
樋口 光秋

## 令和4年度の互助会活動について

互助会は、3年ぶりに会員参加で開催された通常総会において承認された新たなメンバーで互助会幹事会が船出をいたしました。

今年こそは互助会会員の皆様方に、日帰り旅行、新年会及びボウリング大会等の行事で大いに楽しんでいただこう、と計画をしておりましたところ、新型コロナ感染第7波という大波が立ちはだかってきました。県内では毎日千数百人の新規感染者数が発表され、高止り傾向は収まる気配がありません。

この状況下におきましては、当初の計画の見直しはやむを得ません。10月・11月の日帰り旅行は残念ながら中止といたします。年明けの新年会も実施が危惧されます。他に何かできることはないか、互助会幹事会では最優先の課題事項として協議してまいります。

今後とも互助会活動に対しまして、ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

### 令和4年度 新役員

役職 名前 所属	<b>会長</b> 樋口 光秋 (本部)	<b>副会長</b> 落合 英雄 (高岡)	<b>幹事</b> 谷口 清子 (本部)	<b>幹事</b> 中原 富美子 (本部)	<b>幹事</b> 竹本 憲児 (センター事務局長)	
役職 名前 所属	<b>幹事</b> 甲斐 光 (清武)	<b>幹事</b> 河野 洋子 (佐土原)	<b>幹事</b> 落合 部 (田野)	<b>監事</b> 佐藤佳代子 (佐土原)	<b>監事</b> 松元 俊明 (本部)	<b>顧問</b> 清 則幸 (センター理事長)

## 会員互助会定時総会が開催されました



### 事業計画

- ①日帰り旅行の実施2回(10月・11月)…新型コロナにより中止
- ②新年会の実施(1月予定)…中止
- ③レクリエーション(2月予定)
- ④会員作品展示会(3月予定)
- ⑤会員活動の充実:センターのPR事業への貢献
- ⑥その他会員の福利厚生に関する事業



# 職員紹介



ほり えりこ  
**堀 英理子** (本部)

**担当業務** サービス部会

**性格** 明るくプラス思考です。

**休日の楽しみ方**

自宅で映画や海外ドラマを見てのんびり過ごします。  
天気の良い日はたまにドライブします。

**一言**

入社して約半年が経ちましたが、不慣れな事も多くご迷惑をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願いいたします。



やっしろ しょうこ  
**八代 頌子** (本部)

**担当業務** 管理部会、屋外清掃部会

**性格** マイペースな笑い上戸

**休日の楽しみ方** カフェ、雑貨屋さん巡り

**一言**

9月より入社しました八代です。食べることとしゃべることが大好きなポジティブ人間です！まだまだ不慣れなことが多くご不便をおかけするかもしれませんが、一生懸命頑張りますので皆さんよろしくお願いいたします!!



ゆ あさ きみひろ  
**湯浅 公博** (佐土原支部)

**担当業務** 佐土原支部の業務

**性格** 温厚でゆったり

**休日の楽しみ方**

音楽活動、デザイン・ブログの更新、実家の剪定と草取り

**一言**

貴方のバックバンド (後方支援) 努めます♪



# シルバーの日

令和4年10月14日(金)

## 本部

橘通り歩道一帯 参加人数：58名



## 佐土原

総合支所周辺 参加人数：32名



## 高岡

総合支所周辺 参加人数：14名



## 清武

総合支所周辺 参加人数：14名



## 田野

総合支所周辺 参加人数：20名



本部・支部別会員数(9月30日現在)

	男(人)	女(人)	合計(人)
本部	564	282	846
佐土原	107	57	164
清武	84	35	119
田野	40	14	54
高岡	27	15	42
合計	822	403	1,225

# シルバー人材センターへお気軽にご相談ください

## いっしょにお仕事しませんか!!

シルバー人材センターで仲間や生きがいを見つけてみませんか?

### 会員になるには…

- 宮崎市内在住の60歳以上の方
- 健康で働く意欲のある方
- 入会説明を受け、センターの主旨に賛同し、入会手続きをされた方(年会費を納められた方)



まずは、入会説明会で話を聞いてみませんか?

### 入会説明会のご案内

#### 本部

宮崎市祇園2-135  
毎週火曜日 13:30~  
定員10名

事前のご予約をお願いします!

#### 佐土原・高岡 清武(田野)各支部

各支部は、随時受け付けます  
(田野出張所のみ水・金)

※日程は祝日等で変更になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

【お問合せ先】 TEL.25-1430



## お仕事引き受けます!!

豊かな知識と経験で、約1,300人の会員がみなさまのお手伝いをさせていただきます!

- 家事援助 (室内清掃・調理・買物)
- 事務所・店舗清掃



- 草刈・除草
- 農作業
- 墓そうじ
- 剪定
- 屋外清掃・マンション等の周辺清掃



- 駐車場・駐輪場整理
- 公園・施設受付
- 障子・襖・網戸張り



- 通行量調査
- パソコン
- 賞状・のし・宛名・演題書き (毛筆・硬筆) など



その他にも…

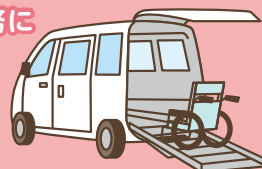
ご家庭でのちょっとした困り事に

**お気軽パック** 2時間以内 **1,900円** (税込)

一般企業・施設などでの業務に

### シルバー派遣事業

- 調理補助
- 送迎
- 清掃
- 軽作業 など



様々なお仕事承ります!! まずはお電話ください!

### あしがき

ある日のこと、近所の高齢者(私も負けず劣らず高齢者の一人です)との会話の中で「フラスター」とは「どんな病気か?」と問われて返事に困りました。御本人は「フラスター」を病名だと誤認していたようです。

「フラスター」とは感染者の集団を意味し、テレビ等の報道機関で多用され認知度が急上昇です。

新型コロナウイルス感染症においては「フラスター」発生、インフルエンザ感染症では「集団感染」、そして鳥インフルエンザでは「発生しました」と同じ現象であるにも関わらず、其々、表現が異なります。「フラスター」改め「集団感染」との表現が良いのでは、と関係機関に訴えたい気持ちです。余談ですが過日、今季初のインフルエンザ集団感染が報道されましたが、本当に感染例がなかったのか、インフルエンザに罹ったのは二ワトリだけだったのかと疑問符が付きまします。

「フラスター」この言葉を聞き、半世紀ほど前のベトナム戦争で使用された「フラスター」爆弾(親爆弾と呼ばれる爆弾の内部に複数の子爆弾が実装されており広範囲に破壊力を及ぼす爆弾)を思い出す人も多いのではと思えます。「フラスター」(爆弾と集団感染)いずれにしても歓迎できる言葉では無いように思えます。今後の新型コロナウイルス感染症の鎮静化を期待してやみません。

(広報委員 勝本真一)

編集・発行/公益社団法人 宮崎市シルバー人材センター  
〒880-0024 宮崎市祇園2-135 TEL 0985(25)1430 FAX 0985(32)1497

- 佐土原支部 〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島20660番地 TEL 0985(73)5272
- 高岡支部 〒880-2221 宮崎市高岡町内山2880番地 TEL 0985(82)3746  
※水のみ 9:00~12:00
- 清武・田野支部 〒889-1613 宮崎市清武町西新町7-2 TEL 0985(84)2333
- 田野出張所 〒889-1701 宮崎市田野町甲2848番地1 TEL 0985(86)3700  
※水・金のみ 10:00~16:00

ホームページ  
<http://miyazaki.miyazaki-scr.jp/>  
または  
「宮崎市シルバー人材センター」  
で検索

